

# 教育委員会会議 令和5年2月定例会 会議録

日 時	令和5年2月24日（金） 13:30 開会 14:39 閉会	会 場	津山市役所 第1委員会室
出席委員	有本 明彦 土居 道宏 光岡 宏文	福見 弘	薬師寺 明子
出席職員	栗野教育次長		
	金田こども保育課長		
	梅原副参与兼教育総務課長		高岡学校教育課長
	仁木次世代育成課長(兼)青少年育成センター所長(兼)鶴山塾長		金田保健給食課長
	三谷教育総務課長補佐(兼)企画総務係長		平井学校教育課参事(兼)課長補佐
	岡本次世代育成課主幹		福島教育総務課主事
議 事	案 件		担 当 課
1.開 会			
2.教育長あいさつ			
3.会議録署名者 について			
4.前回会議録の 承認			
5.教育長等の 報告	① 令和4年度3月補正予算について ② 令和5年度当初予算について		( 各 課 ) ( 各 課 )
6.議 事			
(1)報 告	① 【NTT連携事業】VRを活用した狂言体験の実施報告について ② 令和4年度津山市若手教員育成のチェックシートについて ③ 青少年育成センター運営審議会について ④ 津山市における就学前教育・保育カリキュラム委員会交流紙「カリキュラムだより」の発行について		(教育総務課) (学校教育課) (次世代育成課) (こども保育課)
7.その他			
(1)各課からの お知らせ	① 給食だよりについて ② 令和4年度 学校における牛乳残量調査の結果について ③ 津山市教育委員会通信3月号について		(保健給食課) (保健給食課) (次世代育成課)
(2)次回定例会の 開催について	・津山市教育委員会会議3月定例会の日程について 令和5年3月27日(月)午前9時30分から		
(3)その他			
9.閉会			

傍聴3名

# 教育委員会会議 令和5年2月定例会 会議録

(13:30)

## 1. 開会

市民憲章唱和

## 2. 教育長あいさつ

## 3. 会議録の署名者の件について

## 4. 前回会議録の承認

全員賛成

## 5. 教育長等の報告

### ①令和4年度3月補正予算について（各課）

令和4年度3月補正予算案は2月27日から始まる3月議会に報告し審議いただくものです。2月20日に議案として予算案を送付しています。主には、年度末となり各種の事業費が確定したことに伴う執行残の減額となっています。資料の内示額の欄に三角の印が入っているものは、事業費が確定したものであり、不要部分は執行残として減額しています。中には、国から追加の補正予算を伴うものや、原油高騰や新型コロナウイルス感染症対策関係については追加予算を計上し、来年度予算へ繰り越すものもあります。資料の教育総務課の欄にある小学校における換気対策事業費については、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの対策として導入している空気清浄機が効果的であるとして、国からの補正予算が追加されたことに伴い、本市においても予算を計上し来年度へ向けて準備をしているものです。保健給食課の欄にある給食センター費については、調理費の高騰を受けて令和5年度の保護者負担部分を全額公費負担とするように予算を計上し、来年度の予算として繰越すものです。こども保育課の欄にある幼稚園一般管理費の送迎用バス安全対策装置についてです。他自治体では送迎バスの車内に園児が取り残されてしまう事故が起こっています。国から送迎バスに対策を講じるように指示があり、本市においても対策に係る費用を計上しています。特別会計における奨学貸付金についても、実績が確定したため不用額については減額し、来年度予算へ繰り越します。

### ②令和5年度当初予算について（各課）

令和5年度当初予算案は、令和4年度3月補正予算案と同様に3月議会に報告し審議いただくものです。そのうち教育委員会・こども保健部関係について説明します。生徒指導・不登校事業について、今年度も居場所づくり事業を進めています。令和5年度も主要事業として取り組んでいきたいと考え、予算計上をしています。スクールヘルパー配置事業についても、事業に取り組むために予算計上をしています。特別支援学級充実事業も主要事業として位置付け、きめ細やかな指導を実施したいと考えています。きめ細やかな教育体制整備事業として、教師業務アシスト員と部活動支援員の報酬を計上しています。確かな学力向上対策事業も継続するため、予算を計上しています。学校ICT環境整備事業についても、今後ますます進んでいくため、事業費を確保したいと考えています。小1グッドスタート支援事業についても主要事業として位置づけています。地域とともにある学校づくり推進事業として、学校運営協議会の活動に係る予算を計上しています。来年度はコミュニティースクール開始校が大幅に増加することもあり、予算も増加して要求しています。小学校施設整備事業、中学校施設整備事業として、空調設置設計委託料や大規模改修等に係る整備費を要求しています。令和2年度に1つずつ特別教室にエアコンを設置しました。しかし、まだ設置が完了していない学校もあるため、複数年かけて設置をしようと思います。放課後児童クラブ施設整備事業について、西小学校児童クラブ棟の解体に係る予算を計上しています。中学校準要保護等生徒対策費においても、主要事業として今後も継続するため、予算を計上しています。幼稚園においても、感染対策に係る予算を計上しています。幼稚園預かり保育事業や幼稚園特別支援対策事業に係る計上しています。幼稚園ICT整備事業についても主要事業として取り組んでいきます。子ども若者育成相談支援事業として、主要事業としてひきこもりへの支援の拡充を図ります。戸島学校給食センターの施設・整備改修事業についても、計画的な修繕のため予算を計上しています。また、特別会計として奨学金貸付金も計上し、制度の活用を図っていただきたいと考えています。

## 6. 議事

### (1) 報告

#### ①【NTT連携事業】VRを活用した狂言体験の実施報告について（教育総務課）

2月9日及び2月10日に、万作の会の狂言師によるVR狂言体験を実施しました。文化庁の補助事業を活用し、プレVR体験会ではすべての児童生徒がVRゴーグルを使用して実証実験を行いました。事前に国語、社会、体育において狂言に関する学習をしました。児童生徒からは自分自身だけでなく周りの人にも体験を伝えたいという感想がありました。今後の課題として、VR活用事業については環境や感染対策など、事前に準備が必要となります。技術革新の面もありますが、もっと気軽にVR機器を使用できるようになればさらに学びが深まるのと考えています。今後もNTT西日本と協力し、どのような活動であればVR機器を使用できるのか、また、どのようにICTを活用することによって興味関心を惹ききっかけづくりができるのかを研究していきます。

#### ②令和4年度津山市若手教員育成のチェックシートについて（学校教育課）

近年、ベテランの教員の退職に伴い、若手教員が多く採用されています。新採用となった教員は初年度に15回程度、県の研修を受けます。それとは別に津山市独自として新採用の教員に身に着けてほしい力として、津山市若手教員育成のチェックシートを示しています。児童生徒の実態把握や授業規律に関しては、クラス全員を巻き込み児童生徒が主体の授業ができているか、1時間のタイムマネジメントができるかなどの目標を設定しています。学級経営や学級づくりに関しては、学校や学級のきまりを守らせることができるか、場面に応じて「褒める」・「叱る」などメリハリをつけることができるなどの目標を設定しています。それぞれの項目に対して学校長が5月・7月・10月・12月・2月の年5回に4段階評価を行い、学校経営アドバイザーとともに振り返りを進めています。津山市の目標は、平均3.0としています。これは一人立ちできるという基準です。自身を客観的に見つめなおす機会としています。

#### ③青少年育成センター運営審議会について（次世代育成課）

津山市青少年育成センター運営審議会についてです。津山市青少年育成センター運営審議会は、津山市青少年育成センター条例および同施行規則に基づいて設置される諮問機関となります。センターの運営や事業について審議をし、意見をいただきます。2月15日に令和4年度の事業報告及び令和5年度の事業計画についてご審議いただいた内容を報告します。令和4年度の事業報告についてです。街頭指導活動については、育成センター指導員による街頭指導や津山少年サポートセンターとの合同指導、列車指導などを実施しました。また、児童相談所や警察署といった専門機関への通告事案はありませんでした。広報、啓発活動については、津山っ子を守り育てる市民の会、瀬青少年育成委員の指導を兼ねて、備前市で開催された岡山県少年補導（育成）連絡研修会に参加しました。その他、広報つやまに記事を掲載したり、JR津山駅にて未成年飲酒・喫煙防止キャンペーンに参加しました。環境整備活動の推進については、中学生参加者による「津山っ子こころのふれあいトーク」や、地区の取組を発表し共有する「街づくり人づくりクリーン作戦」アピール集会を実施しました。学校、青少年育成団体、関係機関との連携は記載のとおりです。子ども・若者支援事業について、ニートやひきこもりといった社会生活に困難を抱えている方への支援を行いました。関係機関や専門家を交えたケース会議や、面談、家庭訪問を行い、丁寧な支援を行いました。街頭指導状況について、前年度より件数に変化はほぼありません。相談については前年度よりやや増加しています。特に不登校・ひきこもりに関する相談が増加しています。家庭訪問などの対応を行っています。継続支援対象者として、前年度から継続でおこなっている方が14名、本年度新規が2名となっています。次に令和5年度の事業計画については、令和4年度と変わりありません。これらの内容について、委員からは小中学生のスマホ使用についてや、コロナ禍における相談内容の変化について等のご質問がありました。これに対し、「スマホに関する相談実績はありませんが、ひきこもりの背景にはスマホへの依存傾向があるケースが多いと思われます。ネットトラブルに巻き込まれることが心配であり、学校やPTAを通じてフィルタリング機能をうまく使うことができるように家庭への啓発を行っています。青少年育成センターに相談があった場合には、犯罪に巻き込まれないか注意しながら対応していきたいと思えます。」とお答えしています。巡回指導や学校訪問、地域とのつながりや見守りが大切であるとの意見をいただき、例えば鶴山塾での地域との体験活動等、徐々にコロナ禍前の活動に戻すことができるように取り組んでいくようお答えしています。

#### ④津山市における就学前教育・保育カリキュラム委員会交流紙「カリキュラムだよりの発行について（こども保育課）」

カリキュラム委員会では年に1回カリキュラムだよりを発行し、市内の全ての公立園および民間園に配布しています。今年度は11月11日にみどりの丘保育所にて津山市における就学前・保育カリキュラム委員会主催の公開保育研修会を開催しましたので、当日の研修会概要などをカリキュラムだよりに掲載しています。裏側には参加者の意見などを掲載しており、上部が保育園・幼稚園・こども園の教員、下部が小学校の教員の意見となっています。7校の小学校からも参加していただきました。午前中は公開保育、午後はグループ協議や意見交換を行い、有意義な内容でしたとの感想がありました。

### 7. その他

#### (1)各課からのお知らせ

##### ①給食だよりについて（保健給食課）

今月のイチオシ給食レシピは、「土佐酢あえ」を紹介しています。給食では和え物が苦手な児童生徒が多いと聞いています。家庭でも作ることができるようなレシピを掲載しています。右側の「減塩を意識していますか」の記事にも関連しますが、かつおぶしのうまみと酢の味付けによって、減塩、薄味のレシピとなっています。下部の「野菜のおかずをおいしく食べよう」は、給食献立を参考にした和え物でしっかり野菜を食べようという記事となっています。右側は、「減塩を意識していますか」と題し、子どものころから減塩を意識した食生活を送ることができるよう「減塩の工夫」についても例を挙げた啓発記事となっています。

##### ②令和4年度 学校における牛乳残量調査の結果について（保健給食課）

牛乳残量調査結果についてです。給食だよりに牛乳特別号を発行し、2月中に学校経由でご家庭へ配付しています。全体の牛乳残量調査結果ですが、小学校は昨年度と比べて0.4ポイント減少の1.1%で、目標値1%に近づいています。一方で、中学校は昨年度比8ポイントの増加で27.9%となりました。増加の理由ですが、明確なものが無いのが現場の感覚です。昨年度同様、小学校での減少は学校で継続的に取り組んでいただいている成果の表れや、センター栄養教諭等による飲用牛乳指導や牛乳指導動画の視聴の効果であると思います。しかし、調査対象者は毎年変わるため、中学校ではなかなか牛乳を飲まない生徒が多かったのではないかと考えています。今回、新たに掲載している個所について説明します。まず、「牛乳残量調査の結果発表」のグラフです。残数のうち開封したが全部飲めなかった、少し残った本数と、未開封のままの本数を載せています。具体的な本数は記載のとおりですが、中学校においてはほとんどが未開封のまま残っています。その下に、「中学生の飲用状況」のグラフを載せています。小学生の時は飲んでいましたが、中学生になってからあまり飲んでいない割合が27.2%と、約3割弱となっています。その理由を右のグラフにしていますが、一番多いのは、「小学生の時は必ず飲むように指導されたいたから」です。中学校では時間的な制限があることや、給食の量も増えることにより、牛乳にたどり着けなかったという回答もありました。また、中学校の牛乳の残量が多いことから、今年度は、コーヒータン牛乳の素の提供を増やしています。また、初の試みとして、牛乳代替品として、飲むヨーグルトの提供を、中学校のみ2月に1回行いました。現在、アンケートを集計中ですが、牛乳の方が良いという意見が多い一方で、牛乳の代わりに飲むヨーグルトの方がよい、たまに出してほしいなどの意見も多いです。集計結果は改めてお知らせをします。また、結果は来年度の献立作成に反映できればと考えております。

##### ③津山市教育委員会通信3月号について（次世代育成課）

津山市教育委員会通信3月号を発行します。表面では津山市教育相談センター鶴山塾の活動について紹介しています。まず、4年ぶりのスキー体験について掲載しています。寒波の影響により十分な積雪があり、良いコンディションでスキー体験をすることができました。2月17日にはアイススケート体験を行いました。経験のある子どもはすぐに慣れ、楽しんでいました。少し前になりますが、昨年12月16日には餅つき体験を行いました。裏面には奨学金について記事を掲載しています。奨学金の申込を3月1日から4月14日まで受け付けています。また下部には日本学生支援機構奨学金や岡山県育英会の奨学金制度について紹介しています。

## **(2) 次回定例会の開催について**

教育委員会規則に毎月第4木曜日が定例会開催日となっているが、次回定例会は令和5年3月27日(月)9:30から開催。  
全員賛成により決定

## **(3) その他**

## **9. 閉会**

(14:39)